

保護者の皆様へ

ICTを活用した教育活動の更なる充実

保護者の皆様には、日ごろより区の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、各学校においては、子どもたちの安全・安心を第一に新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行い、区内の感染状況を踏まえたうえで教育活動を進めております。これからの学校の「新しい日常」を定着させていくにあたり、重ねてご理解とご協力をお願いいたします。

オンラインホームルームとオンライン学習を進めます

新型コロナウイルス感染症の第2波や第3波が危惧されている中、学校が臨時休業になったとしても、学校と子どもたちのつながりを第一に考え、ICT環境を活用した「オンラインホームルーム」を実施いたします。そこでは、Web会議システムを用いて、教職員による健康観察や学習課題の確認を行い、教師と子どもが対面授業のようにコミュニケーションを図ることができます。

さらに、基本的な生活習慣を整えながら学びを継続できるように、「オンライン学習」の準備を進め、コロナ禍にあっても、学校での授業と同じように、子どもたちの表情を確認しながら課題の説明、解決のヒントなどの提示を行い、学びの遅れが生じないように、家庭学習を支援していきたいと考えております。

一人一台専用のタブレット端末の活用も始まります

新たな時代を生きていく子どもたちにとって、タブレット端末を中心としたICT機器は鉛筆やノートと同様に、なくてはならないものとなっております。

区では、現在3人に1台のタブレット端末を配備していますが、今後順次一人一台専用のタブレット端末の配備を進め、年内を目途に運用を始めます。通常の授業において、子どもたちが「いつでも」「どこでも」、タブレット端末を活用できるようにし、一人ひとりの学びのスタイルに応じた学習が、これまで以上に充実するようにしてまいります。また、学校が再度、臨時休業となった場合には、これらを活用してオンライン学習等に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスと共に社会で生きていくためには、感染リスクはゼロにならないという認識に立ち、感染症対策の徹底と学習の両立を図り、第2波、第3波に備えていくことが必要となります。今後、一人一台タブレット端末を活用し、これまでの授業とオンライン学習を融合させ、更なる教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和2年7月

杉並区教育委員会
教育長 白石 高士